

(特非) 都留環境フォーラム

一般助成

2年目

実践



一人馬耕の実現に向けて

在来馬と耕す ～持続可能で自立した暮らしの発信～

馬耕キャラバンの
受け入れ開催数

15回

馬耕大会開催継続

3回目

活動の全体目標に
対する達成度

60%

課題

化石燃料に依存しない農耕手段として馬とともに耕す馬耕を復活させ、技術とともに文化を継承していく。馬との関わりにより実感できる持続可能な暮らしの可能性を示す。

活動内容

田んぼでの実践の中で馬耕技術を経験者から学び、土を掘るという技術の段階から、実用的な方法として体系化しつつある。この馬との暮らしや馬との関わりの中で得られる持続可能な暮らしの価値観を普及するため、全国の土を耕す馬耕キャラバンに出かけている。また、はたらく馬フェスでは、第3回になる馬耕大会を継続して開催し、馬耕そのものを楽しみながら知ってもらっている。



持続可能な暮らしを感じる
馬耕キャラバン

今後の課題

馬耕技術のさらなる実用化による持続可能な暮らしの可能性を示すこと。馬を飼い始め、馬耕を導入する人を増やすこと。

成果と工夫した ポイント



成果

馬耕体験者数565人。全国各地の馬耕キャラバンで、馬と働くことを通して持続可能な暮らしの価値観に共感を得られるようになってきた。参加者の反応から、現代に馬耕を復活させる意味を深めることができた。

工夫

協力者との協働により参加者が増えている。また、体験会で伝えるべきことを明確に見直してきた。